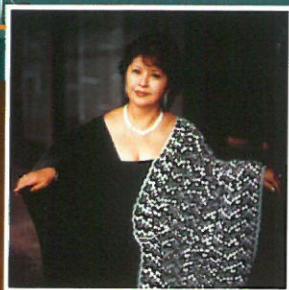


第34回法政大学多摩キャンパスコンサート

# 松本美和子&日本音楽集団 日本の名曲の調べ



2015年12月5日(土)  
14:00~16:00  
法政大学多摩キャンパス大ホール(大教室A棟)



## Program

### 第1部

#### オープニング

#### 1. 子供のための組曲より／長澤勝俊作曲

- 第1章(軽やかにのびのびと)
- 第5章(激しく律動的に)

#### 2. 古典の名曲による楽器紹介

- 鹿の遠音(尺八)
- 六段の調べ(箏)
- 平家物語より(琵琶)
- 歌舞伎音楽より 幕間三重～獅子狂い五段(笛・三味線・打楽器)

### 第2部

#### 3. 邦楽器と松本美和子による日本の歌 (曲順未定)

- 待ちぼうけ
- ちんちん千鳥
- 砂山

##### ★春の海(箏・尺八)

- この道
- 小さい秋見つけた
- 初恋
- 雪の降る町を

#### 4. 古代舞曲によるパラフレーズより／三木稔作曲

ソプラノボーカリーズ 松本美和子

- 前奏曲

- 嬉歌(かがい)

### チケット

入場無料・事前予約制 ペア800組1600名様をご招待

応募者多数の場合は厳正な抽選の上、発送をもって当選の発表とさせていただきます。

### 応募方法

①郵便番号・住所、②電話番号、③氏名(ふりがな)を明記の上、

FAXまたは官製はがきにて(1人1枚(2名分)限り)。

●応募締切 10月30日(金)締切日消印有効 ●発 送 11月12日(木)頃予定

●応募先 FAX 042-783-2043

官製はがき 〒194-0298(住所不要)法政大学多摩キャンパスコンサート係

### 注意事項

ホール内の飲食はご遠慮願います。小学校入学前のお子様の入場・同伴はご遠慮ください。

お問い合わせ 法政大学多摩事務部総務課

☎ 042-783-2082

# Profile

## 松本美和子(ソプラノ) Miwako Matsumoto



1972年ローマ国立歌劇場で「カルメン」のミカエラでデビュー以降、ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場など、世界各国の主要オペラ劇場に出演。1991年10月、ウィーン楽友協会にて、日本人としては初めての楽友協会主催による歌曲の夕べに出演し大好評を博した。1996年4月には、トスティ生誕150周年記念コンサートを紀尾井ホールで開催し、トスティ100曲を歌いあげて大きな話題をよんだ。1998年4月、プッチーニのオペラ「蝶々夫人」のタイトルロールで新国立劇場98-99シーズンの幕開けを飾り、新聞各紙で絶賛を博した。1999年は、新国立劇場の「こうもり」でオペレッタにも挑戦した。また、1999年はレスピーギ生誕120周年にあたり、それを記念して日本で初めて、全曲レスピーギのCDをビクターにより発売されている。

1990年新日鐵音楽賞特別賞、1998年モービル音楽賞を受賞。2002年12月にはソフィア国立歌劇場「ラ・ボエーム」の公演に出演。さらに2003年6月にはA. プレヴィン作曲オペラ「欲望という名の電車」、2005年はデビュー40周年記念コンサートを行い、翌年2006年にはこれまでの演奏活動が高く評価され、紫綬褒章を授与される。2011年にはデビュー45周年記念で、紀尾井ホールにて、プーランク「声」の公演を実施。2012年これまでの功績を認められ旭日小綬章を叙勲された。現在はリサイタルの合間を縫って母校である武蔵野音楽大学の特任教授として後進の指導にあたっている。

オフィシャルHP <http://miwakomatsumoto.com/>

## 日本音楽集団 Pro Musica Nipponia



1964年流派やジャンルを超えて集まった邦楽若手演奏家や洋楽の作曲手法を学び日本の伝統楽器のための作品を作りたいとの強い意志をもった作曲家ら14人で結成。現在、団員は70名を超える。

現在では年間3回の定期演奏会を中心に、全国各地での公演や学校での音楽鑑賞会、さらにはレコード、放送、映画、演劇等さまざまな分野で演奏活動を行なっている。

海外公演はこれまでヨーロッパ、アメリカ、旧ソ連、中国、東南アジア、オーストラリア等、世界31か国151都市で公演。アイザック・スター、ヨーヨーマやゲヴァントハウスオーケストラ、ニューヨークフィルとの共演などを実現し、今までの邦楽とは一線を画した「日本音楽集団」に海外でも高い評価を得ている。

これらの活動に対して1967年芸術祭奨励賞、1970年芸術祭大賞、1971年芸術祭優秀賞、1978年第2回音楽之友社賞、レミー・マタン音楽賞、1988年松尾芸能賞特別賞、1990年モービル音楽賞をそれぞれ受賞している。1999年にNPO法人となる。

日本音楽集団の音楽、それは現代邦楽に新たな可能性を求め、その活力を21世紀に伝え続けている。

オフィシャルHP <http://www.promusica.or.jp/>